

諮問事項に係るヒアリング結果

1 市民活動団体

質問事項	対象団体		
	NPO法人 命を大切に する小田原を創る会	NPO法人 サポートKAZE	エコロジカルコミュニティ あおいほし
1 主な活動分野	・子どもの健全育成	・保健・医療・福祉の増進	・環境の保全
2 活動の範囲	・市内全域 ※上曾我地区の「トムソーヤ の森」が中心	・市内全域	・市内全域
3 地域での活動 実績	・上曾我地区で活動する市民 活動団体と協力し里山を 整備している。 ・「トムソーヤの森」の地元 自治会に協力し、通年で草 刈り等を実施している。	・障がい者個人への支援を実 施している。	・学校からの依頼に応じ、教 職員研修やバザーへの出 展を実施している。
4 活動を広げら れた要因	・旧市民活動サポートセンタ ーにおける交流事業を契 機とした関係者有志の団 体であり、経験、人脈、技 術等の面で人材が豊富で あるため。		
5 地域での活動 希望	・依頼があれば、新たに実施 したい。	・災害時における障がい者へ の支援に資する活動を希 望する。 ・単発ではなく、継続的な協 力関係が望ましい。	・既存のイベントへの参加を 機に、徐々に専門性を生か した関わり方を探したい。 ・非営利活動であるので、活 動を広げることに限界が ある。 ・自団体の規模から、単位自 治会との連携を期待する。
6 地域への協力 が進まない理 由	・団体が対等な協働相手と見 られていないため。	・つながるチャンスがなく、 お互い積極的なアプロ ーチを行えないため。 ・地域にとって障がい者に係 る課題の優先度が低く、メ リットを提示できないた め。	・登録団体名簿の目的が十分 に参加団体に理解されて おらず、実用的な記載とな っていないため。 ・人間関係や慣例、材料費等 実費の面で、地域に受け入 れられるか不安なため。
7 地域で活動す るメリット	・団体の目的（子どもの健全 育成）を達成できること。	・団体の理念（障がい者の生 活の質の向上）に共感して いただけること。	・団体の理念（いのちの源 「水」を大切にする）に共 感いただき、できれば実際 に一つでも生活を見直し ていただけること。
8 実費負担	・原則として費用は不要。	・原則として費用は不要。	・教材費のみ負担いただく。
9 UMECO、 行政に望むこ と	・同じ分野の団体同士の交流 を促進すること。（わくわ く交流会等）	・自治会実務担当者との交流 会を、地区を絞って行うこ と。 ・先進事例に係る情報提供。 ・地域との間に入って助言す ること。 ・コーディネーターとしての UMECOを地域に周知 すること。	・登録団体名簿を改善するこ と。（団体概要の精査等、 団体としても協力したい） ・UMECOの役割や、新し い連携先を周知すること。 ・中規模で、異なる分野の団 体による交流イベントを 実施すること。（プチマー ケット等）
10 他主体との連 携希望	・同分野の団体 ・一般市民 ・民間企業（商業施設等）	・防災分野の団体 ・介護事業者	・子育て関係の団体

2 地域活動団体

質問事項	対象団体		
	万年地区 まちづくり委員会	上府中地区 まちづくり委員会	橘北地区 まちづくり委員会
1 市民活動団体との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンにおける大正琴の演奏を、社会福祉協議会経由で依頼した。 ・単位自治会では、敬老会等に協力していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度、「お結びころりん」にUMECOの学生ボランティアが来て、子どもの遊び相手になってくれた。 ・サロンにおいて、いくつかの団体に訪問していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人と共催で、「人とペットの防災フェスティバル」を実施した。
2 UMECOについての認識	<ul style="list-style-type: none"> ・役割が十分に地域に周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体名簿があることは知っている。 ・気軽に相談できるというイメージがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なるイベントの場合、または学生の自習スペースと認識されており、役割の周知が不十分である。 ・窓口で気軽に相談できるというイメージがない。 ・市民活動に関するノウハウを十分に有する職員が少ない。
3 地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・協力的な人材が少ないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足 ・マンネリ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会メンバーの過大な負担
4 市民活動団体に協力してほしいこと、期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉分野における取組（サロン等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の子育て広場やサロンへの講師としての協力 ・既存の取組にボランティアとして参加すること（関川川の清掃等） ・若者の協力（高校生等） ・費用の節減に資すること（講師謝礼等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、子育て、環境の分野における、既存のイベントへの協力 ・地域の負担軽減に資すること（イベントのブースを一つ丸ごと引き受けていただく等） ・若者の協力（高校生等）
5 地域住民以外の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことに積極的でない方もいるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。
6 市民活動団体との協力が進まない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・連合会長から単位自治会長への情報提供が十分でないケースもあるため。 ・市民活動団体が趣味の団体と思われているケースもあるため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体名簿について、地域側で読み込んで団体を探す余裕はないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習と市民活動の違いが認識されていないため。 ・地域の負担増に係る懸念が払しょくされないため。
7 UMECO、行政に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい窓口や交流しやすい空間をつくること ・名簿について、費用や対象地区、手続きの流れ等の詳細な説明を記載し、依頼しやすくする。 ・名簿について、自治会長に配布するだけでは不足で、まちづくり委員会にも配布したり、公民館に配架すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場において、運営担当者に直接ニーズをリサーチすること。 ・登録団体名簿について、現場に即した分類や情報を掲載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体ネットワーク形成事業の意義を周知するとともに、登録団体名簿の内容を改善すること。（わかりやすいチラシ等の活用、検討部会の設置、活用例の記載等）
8 地域内の市民活動団体		<ul style="list-style-type: none"> ・上府中市民集会施設で、生涯学習に係る団体が活動している。 	